

復興庁 第3回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム

- 浜通り地域等の生活課題を共有し、令和5年度から開始したリビングラボの今後の方向性を議論するため、シンポジウムを開催（約220名参加）。
- 同シンポジウムにて、民間企業11社によるリビングラボ実証事業12提案について発表するとともに、東京大学との連携協定を締結。

- 日時：令和6年6月19日（水） 13:00～15:30
- 会場：浪江町地域スポーツセンター秋桜アリーナ ※オンライン併用
- 参加者：福島浜通り地域等12市町村（いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、新地町）：34名（うち首長・副首長7名）
民間企業：26社 70名
パートナー：62名（福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県、環境省、UR都市再生機構等、8団体）
学術連携パートナー：8名（福島大学、東北大学、東京大学）
復興庁関係：17名（宇野統括官、桜町統括官、荒井福島復興局長他）
その他（一般、メディア）：26名

○石垣参事官から「浜通り復興リビングラボ」今年度の進め方の紹介

- ・住民意見の取り込み、広域連携や民間連携の促進等、今年度の重点事項について説明。



石垣参事官の説明

○民間事業者からの提案発表

リビングラボ実証事業提案として**民間企業11社から12の提案**を発表。

<提案一部紹介>

- ・**国際航業(株)**：3D空間データ活用によるデータ配信・流通サービス実証
- ・**大日本印刷(株)**：ドローンによる調剤配達、遠隔地での服薬管理サポート
- ・**MBTリンク(株)**：電力データ等を活用した健康管理/見守り支援

○復興庁・東大先端研の連携協定締結式

- ・復興庁の「浜通り復興リビングラボ」と、東大先端研の「地域共創リビングラボ」の取組を連携させる、包括的連携協定を締結。
- ・国内外に向けた情報発信などを通じて、復興課題の解決、産官民連携、人材育成等を推進。



連携協定締結式

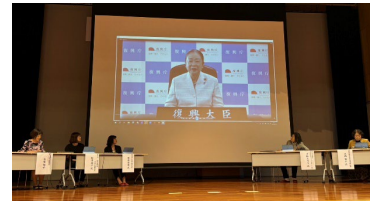
(左：宇野統括官、右：稲見副所長)

○スペシャル・セッション

「安心して心豊かに生活できる場所」としての復興

～生活者の視点・女性の視点～

- ・女性の視点からの生活課題についての15市町村女性職員ヒアリング結果を紹介。
- ・富岡町・原田氏、葛尾村・松本氏、放送大学・中田所長、F-REI・中西監事に登壇いただき、生活者・女性の視点からの現在の課題と今後の取組について議論。
- ・教育や子育てにかかる発言が多く、大人も子どもも安心して学びあい成長できる豊かなふるさとづくりこそ、創造的復興ではないかととりまとめられた。



スペシャル・セッション



土屋大臣からのビデオメッセージ



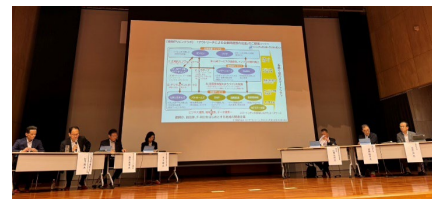
会場の様子

○ハイレベル・セッション

「創造的復興・魅力ある「ふるさと」づくりに向けて

～リビングラボという挑戦～

- ・大熊町・吉田町長、川内村・遠藤村長、国際航業・サンドラ会長、ゼンリン・藤沢取締役、F-REI・山崎理事長に登壇いただき、リビングラボの今後の方向性について議論。
- ・オリエンタルコンサルタンツから、広域連携、民間連携についてのご提案の説明。
- ・地域の方々が知恵を出し合って課題解決していくというミクロの活動と、全体の見取り図を描き、実証事業を組み合わせることで発展させていくマクロでの活動と、多層型でネットワーク化することにより、課題解決につなげていくという、復興リビングラボの段階的発展の道筋が示された。



ハイレベル・セッション



セッション登壇者の集合写真